

ドングリ

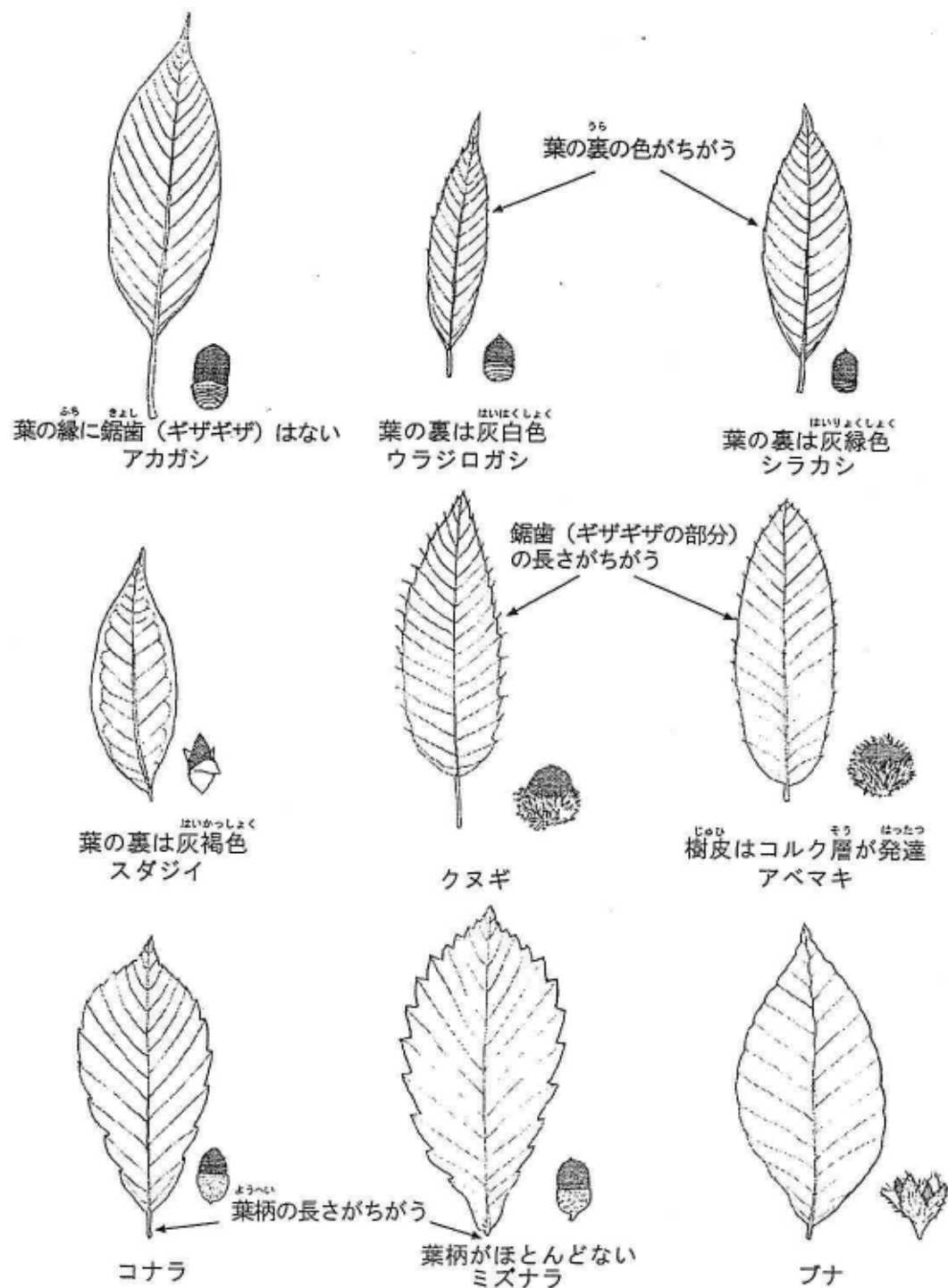
秋になると林や公園にはドングリが落ちています。ドングリというのは、ブナの仲間（ブナ科）のぼうしに見える部分（^{かぶと}殻斗）をもつ木の実のよび名です。富山県で自然に生えているドングリの木は 11 種類ほどあります（下の表）。公園には、県内では野生で見られないドングリの木も植えられています。ドングリをひろったら、その木の名前を調べてみませんか（裏面の図と同じ実、同じ葉の木はあるかな？）。見分けるポイントは、ドングリの形、ぼうしの形・もよう、葉の形、葉のうらの色などです。

ドングリはデンプン質が多く^{えいようか}栄養価の高い実です。しかし、多くのドングリには苦い成分のタンニンがあるため、人はそのまま食べることができません。^{じょうもんじだい}縄文時代の人は、苦いドングリを水によくさらし、アク抜きをしてからダングにして食べていたようです。タンニンが多くとても苦いのは、富山県では自然に多く生えているコナラやミズナラです。タンニンが少ないのは多くのカシ類、タンニンがないのがシイ類と一部のカシ類（アカガシ、ウバメガシ）です。カシ類、シイ類は冬でも緑の葉をつけている^{じょうりよく}常緑の木で、多くの種類はあたたかい地方によく生えています。

タンニンがなく苦くないドングリではドングリクッキーをつくって食べることができます。食べる以外でも、ドングリにつまようじをさしてコマにしたり、竹ぐしでやじろべえを作ったり、マツボックリといっしょにかざったりして遊べますね。

（坂井 奈緒子）

ドングリの木	富山で主に生えている場所
ブナ	標高 500m～1600m くらいの林（実は苦くない）
シイ類（シイ属）	
スタジイ	朝日町・氷見市の海岸近くの林、公園にもよく植えられている（常緑 実は苦くない）
カシ類（アカガシ亜属）	
アカガシ	標高 600m くらいまでの林（常緑 実は苦くない）
ウラジロガシ	標高 500m くらいまでの林（常緑）
シラカシ	氷見市の海岸近くの林、公園にもよく植えられている（常緑）
ナラ類（ミズナラ亜属）	
カシワ	標高 200m くらいまでの林、公園にもよく植えられている
クヌギ	標高 500m くらいまでの林
アベマキ	標高 400m くらいまでの林
ナラガシワ	標高 300m くらいまでの林
コナラ	標高 600m くらいまでの林 多く生えている
ミズナラ	標高 500m～1600m くらいの林 多く生えている
他に、公園に植えられていたり西日本の山に生えているドングリの木は、ツブラジイ、マテバシイ、ウバメガシ、イチイガシ、アラカシなどがあります。	



富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町1-8-31 (TEL. 076-491-2123)

<http://www.tsm.toyama.toyama.jp>

平成 12 年 9 月 1 日